

令和7年度 第3回 高知支部評議会

令和8年度 支部保険者機能 強化予算（案）について

令和8年1月20日



全国健康保険協会 高知支部
協会けんぽ

《予算体系》

協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。

- ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算（基礎的業務関係予算）
- ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な予算（医療費適正化等予算）
- ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な予算（保健事業予算）

このうち、②及び③の予算については、「**支部保険者機能強化予算**」として、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組みを実施する場合に予算計上する経費となる。

- i) 事業の性質に応じて、支部の予算申請や本部審査の重点化・簡素化を行い、令和6年度より事務の効率化が図られた。
 - ・多くの支部が既に実施している定型的な業務のほか、行政や医療関係団体と連携した事業であって、かつ継続した事業については、今後も一定の効果が期待できると判断し、「**定型的事業**」として予算審査を簡略化する。
 - ・通常枠予算のうち、支部の課題等に対応した事業であって、定型的事業に該当しない事業を **課題解決型事業** とする。
- ii) 保険者機能強化予算の取組に意欲的な支部に対し、通常の予算に追加して予算措置を行う「**特別枠**」制度が令和6年度より新たに創設。
 - ・「現状評価・課題・重点施策シート」の作成やこれまでの取組等を通じて洗い出された課題など、エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組を対象とする。

[審査する際の基準]

- ・効果的な事業に繋げるため、地域別、年代別、薬剤別等に細分化した分析、医療費・健診データ等の分析を通じて、ターゲットの絞り込みや、課題を生じさせている背景（要因）の考察等を十分に行ったうえで効果的な事業となるよう計画を立てているか。また、効果検証の方法について、具体的かつ定量的な計画となっているか。
- ・保健事業については、計画段階から支部保健師と十分な議論を行うなど、保健師が有する専門性を十分に活用した計画となっているか。

令和8年度 支部医療費適正化等予算 整理表

分野	区分	取組名	事業内容	経費
医療費適正化 対策経費	継続	高知県内調剤薬局におけるジェネリック医薬品使用促進広報 の取り組み	2. GE・バイオ	1,100千円
	継続	若年層のいる家庭に対する医療費適正化啓発	1. 適正受診	732千円
	医療費適正化対策経費 計			1,832千円
広報・意見 発信経費	継続	上手な医療のかかり方に関する啓発	複合（広報）	5,080千円
	継続	納入告知書同封チラシ	複合（広報）	1,721千円
	継続	経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の普及促進 広報	インセンティブ	404千円
	新規	医療機関配布用のポスターの作製	その他（広報）	109千円
	広報・意見発信経費 計			7,314千円
合計				9,145千円
予算枠				9,145千円

令和8年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
健診経費	—	健診機関による事業者健診データ提供に係る新規委任状取得の委託費	委任状取得費（健診機関）	44千円
	—	健診機関及び事業主へ事業者健診データの作成に要する費用（システム払いができない分）の支払い	データ作成等経費（健診機関・事業主）	39千円
	継続	〔事業者健診の結果データの取得〕 事業者健診データ提供依頼書及びデータ取得の外注	外部委託勧奨	5,505千円
	継続	（集団健診） 特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	大型施設等（被扶養者）	3,208千円
	継続	（健診受診勧奨） 令和9年度健診年次案内用受診勧奨チラシ作製	パンフレット作成	1,916千円
	継続	（健診受診勧奨） 圧着リーフレット等を用いた特定健診の受診勧奨	被扶養者勧奨	461千円
	健診経費計			11,173千円

令和8年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
保健指導 経費	—	医師謝金	—	26千円
	—	保健指導用パンフレット作成等経費	—	250千円
	—	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	—	173千円
	—	保健指導用図書購入費	—	100千円
	—	公民館等における特定保健指導	—	30千円
	新規	〔保健指導利用勧奨経費〕 特定保健指導該当者への健診前通知事業	委託勧奨（指導・被保険者）	1,056千円
	保健指導経費 計			1,635千円
重症化予防 事業経費	継続	〔未治療者受診勧奨〕 生活習慣病未治療者に対する受診勧奨業務	二次勧奨	3,509千円
	継続	〔未治療者受診勧奨〕 生活習慣病予防健診結果における高血圧・高血糖者 への受診勧奨	0次勧奨	3,630千円
	新規	〔重症化予防対策〕 糖尿病性腎症透析予防強化プログラム（保健指導） 業務委託	プログラム	1,848千円
	重症化予防事業経費 計			8,987千円

令和8年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
コラボヘルス事業経費	継続	(コラボヘルス事業) 健康経営にかかる事業所への情報提供		1,219千円
	新規	(コラボヘルス事業) 健康経営にかかる事業所への情報提供②		400千円
	継続	〔コラボヘルス事業〕 「高知家」健康企業宣言パンフレットの作成		271千円
	継続	〔コラボヘルス事業〕 オンライン健康講座の開催		1,870千円
			コラボヘルス事業経費 計	3,760千円
その他の経費	継続	〔その他の保健事業〕 各種媒体を活用した糖尿病発症予防に関する広報	広報関係	823千円
	—	保健事業実施計画アドバイザー経費	保健事業実施計画アドバイザー	98千円
			その他の経費 計	921千円
合計				26,476千円
予算枠				26,476千円

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 高知県内調剤薬局におけるジェネリック医薬品使用促進広報の取り組み		予算額	R7年度	1,870 千円
				R8年度	1,100 千円
事業の概要	県内のジェネリック使用率は改善傾向にあるものの、地域差や医療機関ごとのばらつきがみられ、引き続き利用促進が求められている。こうした状況を踏まえ、薬剤師会と連携し、県内調剤薬局においてジェネリック医薬品の使用促進に向けた啓発広報を実施する。広報媒体については、啓発用の紙ケース（絆創膏入り）を作成する。ジェネリック医薬品の利点や協会けんぽのメッセージを掲載し、加入者に必要な情報を自然に伝える。	期待・効果	・加入者がジェネリック医薬品の仕組みやメリットを理解しやすくなる ・薬剤師に相談するきっかけが生まれ、納得した薬剤選択につながる ・ジェネリックの利用が進むことで、薬剤費の適正化に寄与する ・協会けんぽの取り組みが自然な形で伝わり、認知度と信頼性が高まる		
実施状況やその効果検証結果と継続理由	【背景】 ・令和7年度は、お薬手帳クリアファイルを10,000個を作成。 ・高知県薬剤師会に協力依頼をおこない、令和8年1月以降に県内各所の保険調剤薬局経由で加入者へ配布予定。 ・調剤薬局に配付準備を行っている。薬局へのアンケートの結果からは概ね患者にも好評とのことで、今後も加入者の利用が期待できる。 【効果検証方法】 ・参加薬局数及び広報物の配布数 ・調剤薬局あてに実施するアンケート結果（配布時のお客様の声、広報媒体の評価、デザインの評価など）				

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 若年層のいる家庭に対する医療費適正化啓発		予算額	R7年度	880	千円
				R8年度	732	千円
事業の概要	若年層においては、健康や医療費に関する知識や意識が十分でないことから、家庭全体で医療の適正利用を理解し、日常の健康管理につなげる取り組みが求められている。このような背景を踏まえ、若年層のいる家庭を対象に、医療費適正化に関する啓発を行うため、高知市役所と連携し、市内の小中学校を通じて啓発チラシを配布する。	期待・効果	・若年層から医療リテラシーを高めることで、将来的な医療費抑制に寄与する ・学校を経由した配布により、多くの家庭へ確実に情報を届けられる ・高知市との連携による発信で信頼性が高まり、啓発内容が受け入れられやすい			
実施状況やその効果検証結果と継続理由	【実施状況等】 ・高知支部のジェネリック医薬品使用率は87.4%（令和7年8月診療分）になったが、全国平均89.7%と比較すると低い傾向にある。 ・未就学児童や就学後の児童は、公費との併用により自己負担が発生しないことが多く、医療費への関心が薄い。 【効果検証方法】 ・小中学校へのチラシ配布部数 ・高知市役所との連携評価（協議回数や改善点の整理）					

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 上手な医療のかかり方に関する啓発		予算額	R7年度	1,854 千円
				R8年度	5,080 千円
事業の概要	「上手な医療のかかり方」に関する県民の理解促進について、WEB広報、TVCM、イベント出展などを組み合わせ、県民に分かりやすく情報を提供する。 また、LINE公式アカウントの友だち獲得施策を実施し、日常的な情報発信の基盤を強化することで、継続的な啓発につなげる。	期待・効果	・適正受診が広がり、救急・医療機関の負担が軽減される ・かかりつけ医の定着が進み、健康管理や初期対応が円滑になる ・医療リテラシーが向上し、受診判断の迷いが少なくなる ・LINE登録者の増加により、継続的に健康情報を届けられる体制が充実する		
実施状況やその効果検証結果と継続理由	【実施状況等】 令和5年度からWebやテレビCM等を用いた広報を実施している。令和6年11月以降3月までにかけてテレビCMやWEB広告等様々なメディアで広報を行い、令和6年11月から令和6年度度末にかけてジェネリック医薬品の使用割合が徐々に上昇し、86%超を達成した。令和7年度はWEBアンケートを実施予定。 【効果検証方法】 ・WEB広報ページのアクセス数 ・WEBアンケートにおける「適正受診」への理解度 ・LINE公式アカウントの友だち追加数				

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

定型的事業

事業名	【継続】 経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の普及促進広報		予算額	R7年度	520	千円
				R8年度	404	千円
事業の概要	事業主が目にする経済団体の会報誌などに作成したチラシを同封する。	期待・効果	健診や特定保健指導、要治療者の医療機関受診等、各評価指標（5項目）の今後の取り組み強化に繋げる。			
実施状況やその効果検証結果と継続理由	【実施状況等】 インセンティブ制度に係る令和6年度の実績データにおいて、高知支部は前年度より順位が上がったものの、全国的には下位であり、引き続き巻き返しを図る必要がある。そこで、事業主が目にする経済団体の会報誌にチラシを同封することで、健診や特定保健指導、要治療者の医療機関受診等、各評価指標の今後の取り組み強化に繋げる。 【効果検証方法】 インセンティブの全国順位					

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

定型的事業

事業名	【新規】 医療機関配布用のポスターの作製		予算額	R7年度	—	千円
				R8年度	109	千円
事業の概要	令和 8 年度以降の医療費通知の一括送付の終了に伴い、マイナポータル利用により医療費情報を確認できる旨のポスターを作製し、医療機関に配布する。	期待・効果	医療費通知の発行依頼が減少することで、事務作業を軽減させることが期待できる			
実施状況やその効果検証結果と継続理由	【背景】 令和 8 年度以降、医療費通知の一括送付が終了することから、マイナポータル利用により医療費情報が確認できることを周知する必要がある。 【効果検証方法】 医療費通知の発行依頼件数（初年度のため比較はできない）					

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 事業者健診データ提供依頼書及びデータ取得の外注		予算額	R7年度	6,974 <small>千円</small>
				R8年度	5,505 <small>千円</small>
事業の概要	<ul style="list-style-type: none">データ取得実績のある業者に勧奨を委託し、取得率向上を図る。勧奨対象事業所：520事業所 約16,000人	期待・効果	<ul style="list-style-type: none">事業者健診データ取得件数（取得率）の向上、ひいてはインセンティブの指標である特定健診等の受診率向上に寄与する。データ取得者に対する保健指導案内による保健指導実施率の向上に寄与する。		
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<ul style="list-style-type: none">勧奨事業所対象 527事業所、14,898人R7年12月末時点、提供依頼書 28事業所、健診データ 1,984件を取得済み。 <p>※健診データ取得目標5,500件。目標値と取得件数は乖離しているが、委託業者による取得は効果が認められることからR8年度も継続して実施する。</p>				

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	予算額	R7年度	3,101 千円
			R8年度	3,208 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・年度後半（10月）から年度末にかけ、高知県内各地で未受診者を対象とした特定健診とがん検診同時実施の集団健診を開催する。・高知県内に居住する未受診者を対象とし、特定健診と各種がん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託して実施する。・健診内容を充実させ、受診者に魅力を感じてもらうことで受診率向上を図る。・高知市中心部では、集客が見込めるショッピングモール等において、それ以外の地区では地域の保健福祉センターを活用するなど、地域住民が受診しやすい環境で実施する。	期待・効果	がん検診との同時実施による健診の利便性及び年末・年度末最後の未受診者対策により、特定健診受診率の向上に寄与する。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<ul style="list-style-type: none">・令和7年12月まで実施したイオンモール、東部地区での集団健診（3会場6日程）では、特定健診：484人（前年度同期比＋24名）、保健指導：32人実施済み。・令和8年1～3月には、南国地区、高知市総合あんしんセンター、セリーズ、幡多地区等（10会場14日程）において特定健診とがん検診の同時実施により受診者増を図る。 <p>※がん検診との同時実施による健診の利便性及び年度末最後の未受診者対策により、特定健診の受診率向上が見込めるため、令和8年度も継続して実施する。</p>			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 圧着リーフレット等を用いた特定健診の受診勧奨		予算額	R7年度	1,279千円
				R8年度	461千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・圧着リーフレットを使用して、特定健診の受診勧奨を行い、受診率向上を図る。・リーフレットの内容は、特定健診の受診の流れ、健診の概要、市町村の集団健診の日程を周知して受診につなげる。・委託業者には、対象者データを提供の上、圧着ハガキの作成、発送先の住所、氏名の記載および発送までを委託する。・通知予定数：約9,000通		期待・効果	特定健診受診率の向上に寄与する。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<ul style="list-style-type: none">・令和7年7月 市町村主催集団健診の再勧奨 8,764通発送・令和8年1月 未受診者への最終勧奨 13,200通を発送予定 <p>※ 市町村主催集団健診の受診者数はR7年度上期1,000名（前年度同期＋25名）であり、一定の効果がある。 なお、年度末案内は、協会主催集団健診案内と重複するため中止。R8年度より案内を2回より1回に変更する。</p>				

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【新規】 特定保健指導該当者への健診前通知事業		予算額	R7年度	— 千円
				R8年度	1,056 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・特定保健指導該当者へ、次回の健診前（3か月前）に生活習慣の振り返り及び減量目標値等を記載した通知（圧着はがき）を送付することで、特定保健指導該当者が健診日までに自ら行動変容を起こし、これにより特定保健指導レベルの改善（例_積極的・動機づけ支援から非該当へ、積極的支援から動機づけ支援へ）につなげるとともに、特定保健指導該当時の利用拡大を促す。・通知予定数：約12,500人	期待・効果	<ul style="list-style-type: none">・特定保健指導レベルの改善（例_積極的・動機づけ支援から非該当へ、積極的支援から動機づけ支援へ）を促す。・特定保健指導該当時の利用拡大に寄与する。		
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【効果検証方法】</p> <ul style="list-style-type: none">・送付対象者の特保レベルの改善状況（例_積極的・動機づけ支援から非該当へ、積極的支援から動機づけ支援へ）を確認する。・送付対象者の特定保健指導該当時の利用状況を確認する。				

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 生活習慣病未治療者に対する受診勧奨業務	予算額	R7年度	3,722 千円
			R8年度	3,509 千円
事業の概要	<div>・血圧・血糖・脂質検査において要治療と判定されながら医療機関を受診していない者に対し、医療機関への受診勧奨を行う。 ＜委託内容＞ ・対象者への受診勧奨文書及び送付用封筒の作成、封入封緘、発送業務。 ＜勧奨手順＞ ①本部勧奨翌月に支部で対象者を選定し、委託機関にデータ送付 ②委託機関にて、受診が必要な検査項目をわかりやすく表示した勧奨文書に「受診状況のおたずね」、「返信用封筒」を同封し送付。1週間以内の返信を依頼する。回答書は支部あてとする。 ・通知予定数：5,500件</div>	期待・効果	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<div>・令和7年12月末時点、文書勧奨3,743件、回答書返送1,131件（回答率30%、前年度同時期14.6%）である。 ・健診後10ヶ月以内の受診率（R6年4月～10月健診、R7年度勧奨）：35.5%（16位、全支部34.2%、前年比+1.5㊦）である。</div> <div>通知内容の見直しにより、回答率は倍増した。受診率も大きく向上しており、事業効果は大きい。令和8年度も継続して実施する。</div>			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 生活習慣病予防健診結果における高血圧・高血糖者への受診勧奨		予算額	R7年度	3,346 千円
				R8年度	3,630 千円
事業の概要	健診当日、生活習慣病予防健診実施機関から、高血圧・高血糖者に対して医療機関受診を勧める。 ・委託機関：生活習慣病予防健診実施機関のうち受託を希望する機関 ・勧奨実施者：医師、看護師、保健師 ・勧奨方法：対面にて、勧奨資材を用いて5分以上の受診勧奨をする。 ・効果判定：勧奨後の受診状況をレセプトで確認する。 ・対象者：2,200人 ・費用：1件当たり1,500円（税抜）		期待・効果	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	・令和7年度は、11健診機関と契約 ・令和7年11月末時点、受診勧奨1,366人（前年度同期比＋284人） ・健診後10ヶ月以内の受診率（R6年4月～10月健診、R7年度勧奨）：35.5%（16位、全支部34.2%、前年比＋1.5ポイント） 健診当日の受診勧奨は、医療機関への受診に結び付きやすいと考える。令和8年度も継続して実施する。				

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【新規】 糖尿病性腎症透析予防強化プログラム（保健指導）業務委託		予算額	R7年度	—	千円
				R8年度	1,848	千円
事業の概要	<div>・高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則り、治療中のコントロール不良者などに対し医療機関と連携した重症化予防事業を行う。 ・専門的知識と経験を有する事業者による委託で実施する。 ・予定数：12名</div>	期待・効果	・プログラム利用者の透析導入時期の延伸によるQOLの維持、医療費の削減を図る。			
実施状況やその効果検証結果と継続理由	・令和7年度の同プログラムの改定ワーキング検討結果等により委託実施の目途が立ったことにより、令和8年度より実施する。					

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 健康経営にかかる事業所への情報提供		予算額	R7年度	1,540 千円
				R8年度	1,219 千円
事業の概要	健康経営優良法人の認定を受けた事業所の取り組みを中心に、事例集を作成して配付する。 また「高知家」健康企業宣言をされた事業所に対しては、より詳しく健康経営について知っていただくための資料をあわせて配付する。	期待・効果	・成功事例の共有により、他事業所が取り組みやすくなる ・健康経営の実施内容が具体化し、事業所の行動につながりやすい ・協会けんぽの支援姿勢が可視化され、事業所との関係性の強化が期待される		
背景や効果 検証方法	【実施状況等】 令和7年度に作成した事例集については、健康保険委員がいる事業所を対象に配付した。事例集を見て宣言を申し出る事業所もあり、おおむね好評であった。また、事業所訪問時や研修会などでも活用し、幅広い用途で使うことができている。 【効果検証方法】 健康宣言事業所数、健康経営優良法人認定事業所数				

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【新規】 健康経営にかかる事業所への情報提供②		予算額	R7年度	— 千円
				R8年度	400 千円
事業の概要	健康宣言事業所へ健康保持増進に役立つ情報を提供する。市販のチラシやパンフレットを提供し、事業所内での掲示や回覧を行ってもらうことにより健康情報の周知を図る。	期待・効果	・定期的に情報提供することで継続的な取り組みを促す ・事業所の健康意識の向上を図り、健康の保持増進が期待される ・協会けんぽの支援姿勢が可視化され、事業所との関係性の強化が期待される		
背景や効果 検証方法	【背景】 「高知家」健康企業宣言を始めた事業所において、どのような取り組みをすればいいのかという悩みを抱えた事業所が意外に多い。そのため、健康宣言事業所へ健康保持増進に役立つ情報を提供する。 【効果検証方法】 健康宣言事業所数、健康経営優良法人認定事業所数				

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 「高知家」健康企業宣言パンフレットの作成		予算額	R7年度	160	千円
				R8年度	271	千円
事業の概要	健康企業宣言を行っていない事業所に使用するため、健康経営を理解しやすいパンフレットを作成・活用して健康宣言事業所数の増加を目指す。	期待・効果	事業所カルテ送付時に健康宣言事業の周知広報を行うほか、関係団体を通じて、より多くの加入事業所へ健康宣言事業を周知することにより、宣言事業所数の拡大に繋がる。			
実施状況やその効果検証結果と継続理由	【実施状況等】 現在914社（令和7年12月末時点）が健康宣言を行っているが、より多くの事業所が健康経営に興味関心を持ち、取り組みを進めていただく必要がある。 【効果検証方法】 健康宣言事業所数					

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 オンライン健康講座の開催	予算額	R7年度	1,500 千円
			R8年度	1,870 千円
事業の概要	<p>代謝リスク（高血糖・脂質異常・高血圧等）の保有率が全国平均を大きく上回っていることに加え、飲酒習慣要改善者の割合も高い傾向にある。また、腰痛や肩こり、関節痛などの筋骨格系に関連する医療費が高く推移していることから、働く世代の健康リスクが多方面に存在している状況である。</p> <p>このような背景を踏まえ、事業所の規模や立地にかかわらず参加しやすいオンライン健康講座を開催する。</p>	期待・効果	<ul style="list-style-type: none">・食事、運動、飲酒など生活習慣の改善が進み、代謝リスクの軽減に寄与する・腰痛や肩こりなどの筋骨格系トラブルの予防が進み、生産性向上が期待できる・従業員の健康意識が高まり、継続的な健康行動につながる・健康経営の取り組みとして活用され、事業所の健康づくりがより推進される	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【実施状況等】</p> <ul style="list-style-type: none">・令和7年度は個別学習25回、全体学習4回を開催。 <p>【効果検証方法】</p> <ul style="list-style-type: none">・開催報告書による参加実績や、視聴事業所数（全体学習）・参加者アンケートによる満足感			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 各種媒体を活用した糖尿病発症予防に関する広報 （旧取組名：各種メディアを活用した糖尿病発症予防に関する広報）		予算額	R7年度	979	千円
				R8年度	823	千円
事業の概要	<p>・過去の取組み：特設WEBサイト運用、WEB広告、チラシ・ポスターの事業所、自治体等へ配布した。</p> <p>・令和8年度取組：入口対策を主に20～30歳代に対し健康づくり啓発DMを送付する。</p> <p>対象：25～35歳の被保険者約22,000人</p> <p>・各種媒体（メルマガ・LINE・納告チラシ）広報も継続する。</p>	期待・効果	20歳から体重が10kg以上増加した場合に、そうでない人に比べて、2.2倍糖尿病を発症しているなどの研究報告を前提とした広報を展開し、加入者に体重増加の予防について意識づけすることで、代謝リスクの軽減などを期待できる。			
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【実施状況等】</p> <p>高知支部は代謝リスク保有割合が全国と比較して男女とも特に高い。代謝リスクの抑制を図ることを目的として、令和5年度より開始の糖尿病発症予防の広報を継続実施する。令和8年度は、新規に若年層への啓発DM送付を実施する。</p> <p>【効果検証】</p> <p>令和8年度実施の啓発DMにWEBサイトへ誘導するQRコードを掲載し、WEBサイトの閲覧数により評価する。</p>					